



JAID 総会 学術大会

<http://www.jaid-japan.com/>



岩城 正明
JAID会長



Sam Simos 先生

講演タイトル

The Indirect Restorative Solution
A strategic guideline from preparation to final seat
間接修復における支台歯形成から最終補綴装置装着まで

目的は

- ① 効率よく間接修復処置を行い、予知性の高い結果を常時もたらす
- ② 正確に修復物を接着し、異なる臨床に対するレジンセメントの使い方
- ③ 間接修復材の違いと、間接修復処置を行う際の重要性
- ④ 印象方法、症例への対処法
- ⑤ 予知性の高いインプラント修復のための様々な方法を学ぶこと

◆経歴

Sam Simos先生はシカゴ郊外でインプラント、修復、審美の臨床を行なっている。世界中の患者が自分の生活の質の向上を求めて先生のところに訪れている。審美や修復歯科の指導者として国際的に認められている。シカゴLoyola大学で博士号を取得している。審美歯科、咬合、包括的な修復歯科治療を大学卒業後の先生に教えている。歯科業者と新しい歯科材料について評価し、アドバイスするDental Advisorとして選ばれた歯科医の一人である。歯科医師としての意識、情報交換、教育を促進し、今日の革新的な歯科技術や材料に関しての国際的な出版物の著者でもある。

日時

2019年2月11日(月・祝) 9:00~17:00

場所

アキバホール

東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル5F

参加費用

歯科医師	JAID会員及びJAID会員医院に勤務/ ¥10,000	一般/ ¥15,000
歯科衛生士	JDHC会員及びJAID会員医院に勤務/ ¥3,000	一般/ ¥5,000



JDHC 衛生士部会同時開催

9:00~12:00 講師 井上 和 先生



清水藤太 先生 Tota Shimizu, DDS

ロサンゼルス開業
UCLA歯学部 クリニカルインストラクター
日本大学松戸歯学部 客員教授

講演タイトル

“最先端エンドの一般保険診療への導入のヒント”
～マイクロスコープ、Ni-Tiファイル等の最新機器を駆使したエンドを、日常の保険診療に溶け込ませるために～

1990年代後半のエンド・ルネッサンスにより、マイクロスコープやNi-TiファイルそしてMTA等のバイオセラミック・マテリアルがエンド臨床に導入され、また時をおなじくしてエンド・マイクロ・サージェリーのコンセプトも一新されたため、現在、臨床エンドのレベルはかつてない高みに達することとなった。その一方で、そうしたマイクロスコープやNi-Tiファイル等の最新機器を駆使したエンドは時間とコストがかかり、保険中心の歯科医院においてはその導入は難しい、という諦めの雰囲気も、一般的な開業医の間に蔓延しているのも、また事実であろう。しかし演者は、こうしたマイクロスコープやNi-Tiファイルを用いた最先端のエンド治療というのは「自費のVIP患者向けのスペシャル治療」ではなく、「日常臨床におけるごく普通の治療」として、広く国民に還元すべきものであり、またそれは十分可能なことだと思っている。本講演においては、「最先端エンドの一般保険診療への導入のヒント」をテーマに、マイクロスコープ、Ni-Tiファイル等の最新機器を、コストと時間に配慮していか効率よく歯科医院に溶け込ませていくか、ということにつき、多くの実例をあげつつ示説したい。多くの臨床家の奮ってのご参加を期待しています。

◆経歴

1993年 鹿児島大学卒業。保母須弥也に師事し局部補綴学を修める。
1998年 ロサンゼルス南カリフォルニア大学 (USC) 大学院に入学。
2000年 アメリカ歯科国家試験合格
2000年 USC臨床准教授に就任。大学院生の臨床指導に携わる。
2001年 カリフォルニア州歯科免許取得、ロサンゼルスにてエンド専門医として開業
2011年 南カリフォルニア大学歯学部 “2011年度最優秀臨床准教授賞”、受賞。
2013年 UCLA歯学部に移籍。クリニカルインストラクター就任

凱旋講演
【各15分】



鈴木 仙一 先生



五十嵐 一 先生

お申込み・お問い合わせ先



【事務局】株式会社デンタルプロモーション(担当:中屋)
E-mail: nakaya@dental-promotion.com

JAID総会/学術大会申し込み
WEBサイト内専用フォームよりお申込み下さい。
<http://www.jaid-japan.com/>

